

令和6年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生市立福生第一小学校 第2学年1組

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	5 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	100.0%	91.7%
		25 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	86.4%	87.0%
		26 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	82.6%	92.6%
	目標の達成	10 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	69.6%	65.1%
		15 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	82.6%	88.8%
	他者との協働	56 わたしは、友だちの心をきずつけることを言ったり、からかったりしていない。	73.9%	73.4%
	学力と関係が深い質問	3 本や新聞を読んでいる。	65.2%	65.1%
		20 学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	87.0%	90.4%
		52 私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	87.0%	91.7%
領域名	学力調査の分析 ○成果 ▲課題			
国語	言葉・情報・言語文化	▲全国平均正答率を4.8ポイント下回り、(漢字の読み(まっすぐに立つ。))設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率を6.8ポイント下回り、(放送された内容のテーマを選ぶ)設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を10.7ポイント下回り、(文章中の説明に沿って空欄に合う内容を書く)設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を9.6ポイント下回り、(場面の様子を読み取って抜き出す)設問に課題がある。		
算数	数と計算	▲全国平均正答率を3.6ポイント下回り、(場面を式に表し、答えを求める(2位数+1位数)設問に課題がある。		
	図形	○全国平均正答率を5.7ポイント上回り、(点と点を線でつなぎ、図と同じ形をかく)設問に成果がある。		
	測定	▲全国平均正答率を12.1ポイント下回り、(指定された時刻を指している時計を選ぶ(5時55分))設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を5.2ポイント下回り、(絵グラフからいちばん数の少ないものを選ぶ)設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>・国語では、音読に意欲的に取り組んだり、文章の内容をノートやワークシートにまとめたりすることで、文章の内容を理解できる児童は多い。しかし、初めて読む文章を理解することが難しく「読むこと」の領域では課題が見られる。また、自分で文章を考えて書くことに苦手意識をもつ児童が多く、「書くこと」にも課題がある。</p> <p>・算数では、式や筆算等の計算問題にはすすんで取り組み理解できている児童がいる一方で、文章問題については、問題文をよく読んでいないため、誤答が多い。また、計算の仕方をすぐに忘れてしまう児童もいる。「測定」の領域では、日常生活で時間を意識していない児童が多く、時計を正しく読めない児童が多数いる。</p>		<p>・国語では、毎日音読の宿題を出し文章に慣れ、授業での理解を深められるようにする。また、読書に意欲的に取り組めるように「読書カード」を作成し、読書の楽しさを味わわせ、文章を読むことへの苦手意識を軽減させるようにする。書くことでは、一言日記を書く時間を確保し、書くことに対する抵抗感を減らしていく。その際、漢字も使って書くように指導する。</p> <p>・算数では、文章題で大事な言葉や数に下線を引いたり、余白にメモを取ったりするなど、文章題を解くときの作業を繰り返し解く中で習慣付ける。また、ミライシードやプリント等で復習を行い、定着させるようにする。学習を日常生活と結び付けながら授業を進めていく。</p>		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和6年8月末時点で完了している児童	95.6%	(22人/23人中)
確認テストの実施状況		令和6年8月末時点で完了している児童	95.6%	(22人/23人中)